

令和7年1月

人権一口講座



「インターネット使用に忍び寄る黒い影」

近年、青少年のインターネット利用環境に関する実態調査が行われ、その結果が注目されています。この調査によると、多くの青少年が日常的にインターネットを利用しており、ネットいじめ、プライバシー保護、不適切なサイト、利用時間の問題など様々な問題が浮き彫りになっています。特に、こどもたちがインターネット上で遭遇するトラブルが増加していることが懸念されています。

こどものネットトラブルを回避するためには、いくつかの対策が必要です。まず、家庭や学校等でも子どもたちに対してインターネットの安全な使い方を再認識させることが不可欠であり、個人情報や不意に公開しないことや、不審なリンクをクリックしないことなどの基本的なルールを徹底することが求められます。また、こどもたちがインターネット上で遭遇する可能性のあるトラブルについて、具体的な事例を交えて説明することで、彼らの危機意識を高めることができるのではないのでしょうか。

家庭内でのスマホ利用に関しても、ルールを設定することが大切です。調査によると、スマホの利用ルールを決めている家庭は全体の三分の一に過ぎないという結果が出ています。ルールを設定することで、こどもたちが適切な時間にスマホを利用し、過度な依存を防ぐことができます。例えば、就寝前のスマホ利用を制限することや、学習時間中のスマホ利用を控えることなどが効果的と言われています。

さらに、最近では「闇バイト」と呼ばれる違法なアルバイトが横行しており、これもインターネットを通じてこどもたちが巻き込まれるトラブルの一つです。闇バイトは、違法な活動に関与するリスクが高く、こどもたちの将来に深刻な影響を及ぼす可能性があります。これを防ぐためには、保護者や教育者がこどもたちに対して、違法なアルバイトの危険性についてしっかりと教育することが必要で、こどもたちが怪しい求人情報にアクセスしないように、インターネットの利用を監視することも重要です。

青少年のインターネット利用に関する問題を解決するためには、家庭や学校、社会全体での協力が不可欠です。こどもたちが安全にインターネットを利用できる環境を整えるために、私たち一人ひとりができる対応策を考え、青少年の健全な育成を見守っていくことが求められているのではないのでしょうか。

(熊本市ふれあい文化センター広報紙「かけはし」令和7年1月号より)

短いメッセージ

ちょっぴり 勇気を出して 言ってみた
すっきりしたよ らくになったよ

熊本市・熊本市教育委員会・熊本市人権啓発市民協議会のカレンダー 湖東中学校 2年 下川 凜士さん(令和5年度の作品より)